



国土交通省 北海道開発局
網走開発建設部

出前講座

News Letter

2020



川の防災学習会 in 北見市立小泉小学校

「マイハザードマップ」実施レポート

■開催概要

令和2年12月1日(火)、北見市立小泉小学校において、5年生2クラスを対象に「川の防災学習会」を開催しました。

小泉小学校では、平成20年から4~6年生を対象に「川の環境・防災学習会」を実施しています。



H28年常呂川の水害写真を見てもらいました

■実施内容

学習会では、令和2年7月豪雨により被災した熊本県球磨川の動画と平成28年8月に北海道を襲った台風の影響を取り上げ、児童の皆さんと災害時の大変さを共有したほか、常呂川の洪水前と洪水時の写真を見比べてもらい、洪水時の川では何が起きているのか皆で考えました。また、平成20年7月に兵庫県都賀川で発生した水難事故の様子を動画や写真などで確認し、今いるところが晴れていても、上流で雨が降っていると川の様子は変化することなどを学びました。

その後、^{ないすい}内水氾濫(川から水があふれないのに街が浸水)・地下浸水(水圧でドアが開かない)・竜巻(強い上昇気流による激しい突風)・流れる水の動きと土地の変化(大雨による土砂の侵食・運搬・堆積の流れ)の模型実験を見学。積乱雲などの下で見られる大雨や風の災害を確認してもらいました。



流れる水の動き実験装置



地下浸水実験装置



竜巻発生装置

学習会の後半では通学路周辺の水が集まりそうな場所や大雨が降った時に危険だと思う場所などを大きな地図に記入した「マイハザードマップ」を作成。クイズ形式で小学校周辺の地形の特徴や北見市より全戸配布されているハザードマップを使って洪水時の避難所や防災情報の入手方法について確認しました。



「川の水の色、川幅…」

洪水前と洪水中で川の様子は何が違う？



小グループで話し合いながら地図に書き込んでいます



身近にある避難場所や危険箇所を確認しました



この学習で、災害を身近なものとして理解してもらえたらと思います。

～知って得する 防災に関する情報～

全国各地で毎年のように水害が発生しており、今年も熊本県を中心に九州や中部地方などの広い範囲で大きな豪雨被害が発生しました。

災害から身を守るため、自らが最新の情報を収集し避難行動へつなげることが効果的です。最新の河川水位などの情報は、インターネットのほかテレビのデータ放送でも確認できます。

避難行動のためにご活用ください。



身近な「テレビ」から情報入手を！

出前講座のお問い合わせは下記連絡先へお寄せください

090-0802 北海道北見市田端町71番地

北海道開発局 網走開発建設部 北見河川事務所 計画課

【TEL】0157-23-6118 【FAX】0157-23-6126